

令和5年度第1回 指宿市地域公共交通活性化協議会

日時：令和5年6月1日（木） 14:00～

会場：ふれあいプラザなのはな館2階 会議室1・2

【会 次 第】

1 開 会

2 会長挨拶

3 委員紹介

4 報 告

報告第1号 令和4年度利用実績について

報告第2号 路線バス「なのはな館-東大川線」乗り込み調査について

報告第3号 令和4年度普及啓発活動について

5 議 事

議案第1号 令和5年度事業計画（案）について

議案第2号 令和5年度収支予算（案）について

議案第3号 乗合タクシー停留所の新設について

議案第4号 令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

(1) 制度概要について

(2) 令和6年度計画内容（案）について

議案第5号 (仮称) 指宿市地域公共交通計画の策定について

そ の 他

6 意見交換

7 その他

8 閉会

指宿市地域公共交通活性化協議会規約

(設置)

第1条 指宿市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）は、次に掲げる事項を協議することを目的として設置する。

- (1) 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号）第5条第1項の規定、並びに地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（平成23年3月30日付け国総計第97号，国鉄財第368号，国鉄業第102号，国自旅第240号，国海内第149号，国空環第103号。以下「国要綱」という。）第2条第1項第1号の規定に基づく地域公共交通計画（以下「交通計画」という。）の作成，実施及び評価・見直しに関する事項
- (2) 道路運送法（昭和26年法律第183号。以下「運送法」という。）の規定に基づき，市内における需要に応じた市民生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他の旅客の利便の増進を図り，地域の実情に即した持続可能な輸送サービスの実現に必要な事項（自家用有償旅客運送をはじめとする自家用自動車車の使用関係を含む。）

(協議事項)

第2条 協議会は，次に掲げる事項を協議するものとする。

- (1) 交通計画の策定及び変更に関すること。
- (2) 交通計画の実施に係る連絡調整に関すること。
- (3) 交通計画に位置づけられた事業の実施に関すること。
- (4) 運送法に基づく地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送等の態様，運賃・料金等に関すること。
- (5) 道路運送法施行規則（昭和26年運輸省令第75号）第49条第1号に規定する交通空白地有償運送及び同条第2号に規定する福祉有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関すること。
- (6) 協議会の運営方法その他協議会が必要と認める事項

(組織)

第3条 協議会の委員は，次に掲げる者をもって構成するものとする。

- (1) 市長又はその指名する者
- (2) 一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者又はその指名する者
- (3) 一般貸切旅客自動車運送事業者又は一般乗用旅客自動車運送事業者の代表者又はその指名する者
- (4) 鉄道事業者の代表者又はその指名する者
- (5) 一般旅客定期航路事業者の代表者又はその指名する者
- (6) 公益社団法人鹿児島県バス協会長又はその指名する者
- (7) 一般社団法人鹿児島県タクシー協会長又はその指名する者
- (8) 市民又は利用者の代表
- (9) 国土交通省九州運輸局鹿児島運輸支局長又はその指名する者
- (10) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者又はその指名する者
- (11) 指宿警察署長又はその指名する者
- (12) 道路管理者又はその指名する者
- (13) 港湾管理者又はその指名する者
- (14) 鹿児島県知事又はその指名する者
- (15) 指宿市内において自家用有償旅客運送（公共交通空白地有償運送又は福祉有償運送）の運送団体
- (16) 学識経験を有する者その他協議会の運営上必要と認める者

2 協議会は、前項の委員以外の者または団体にオブザーバーとして参画を求めることができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(役員)

第5条 協議会に次に掲げる役員を置き、その定数は、当該各号の定めるところによる。

- (1) 会長 1名

(2) 副会長 1名

(3) 監事 2名

2 役員は、委員の互選によりこれを選任する。

3 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

6 監事は、協議会の出納監査を行い、その状況を会長に報告する。

(会議)

第6条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要に応じて招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、これを開くことができない。

3 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 議長は、委員として議決に加わる権利を有しない。

6 会長は、必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見を求めることができる。

7 会議は、原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

8 地域公共交通に関する相談、苦情等に対応するため、連絡・通報窓口を指宿市産業振興部商工水産課に置く。

9 前各項に定めるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

(会議の特例)

第7条 会長は、会議の議事について特に緊急を要するため会議を招集する時間的余裕がない場合又はやむを得ない事由がある場合と認めるときは、議事の概要を記載した書面を全ての委員に回付し、その賛否を問い、会議に代えること

ができる。

2 前条第4項及び第5項の規定は、前項の場合に準用する。

(分科会等)

第8条 第2条各号に掲げる事項について、地域での取り組みを行うため、又は専門的な調査、検討を行うため、協議会の分科会等を置くことができるものとする。

2 前項に基づき設置される分科会等において、第2条各号に掲げる事項に関する調査、検討が行われた場合には、協議会における協議に資するよう、その結果を協議会に報告することとする。

(協議結果の取扱い)

第9条 委員及び委員の属する団体等の関係者は、協議会において協議が調った事項については、その結果を尊重し、当該事項の誠実な実施に努めるものとする。

(事務局)

第10条 協議会の業務を処理するため、協議会に事務局を置く。

2 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第11条 協議会の運営に要する経費は、負担金、補助金、繰越金及びその他の収入をもって充てる。

(財政に関する事項)

第12条 協議会の予算編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(報酬及び費用の弁償)

第13条 会議、分科会等に出席した者は、別表に掲げる報酬及び費用の弁償を受けることができる。ただし、これに代わる対価を別に得ている者は、この限りでない。

(協議会が解散した場合の措置)

第14条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(その他)

第15条 この規約に定めるもののほか必要な事項は、会長が協議会に諮り定める。

附 則

- 1 この規約は、令和4年11月15日から施行する。
- 2 協議会は、指宿市地域公共交通会議設置要綱（平成31年指宿市告示第2号）に規定する指宿市地域公共交通会議の権能及び事業を承継する。
- 3 この規約の規定により最初に就任した委員の任期は、第4条の第1項の規定にかかわらず、令和6年3月31日までとする。

別表（第13条関係）

委員の区分	報酬
学識経験者	日額20,000円
その他	日額3,000円

指宿市地域公共交通活性化協議会委員名簿

委員任期：令和4年11月15日から令和6年3月31日まで

	構成員の要件	職	氏名	備考
1	学識経験者	鹿児島大学 名誉教授	井上 佳朗	会長
2	一般乗合旅客自動車運送事業者の代表者又はその指名する者	鹿児島交通株式会社 常務取締役	西 修平	
3	一般貸切旅客自動車運送事業者又は一般乗用旅客自動車運送事業者の代表者又はその指名する者	山川タクシー 支配人	水流 美紀子	
4	鉄道事業者の代表者又はその指名する者	九州旅客鉄道株式会社 鹿児島支社 副支社長	前田 秀作	
5	一般旅客定期航路事業者の代表者又はその指名する者	種子屋久高速船株式会社 所長代理	永谷 真純	
6	一般旅客定期航路事業者の代表者又はその指名する者	株式会社なんきゅうドック 代表取締役会長	今村 弘彦	欠席
7	公益社団法人鹿児島県バス協会会長又はその指名する者	公益社団法人鹿児島県バス協会 専務理事	改元 秀男	欠席
8	一般社団法人鹿児島県タクシー協会会長又はその指名する者	一般社団法人鹿児島県タクシー協会 指宿地区タクシー支部会 支部長	別府 竜人	
9	市民又は利用者の代表	指宿市自治公民館連絡協議会 会長	西村 甲一	
10	市民又は利用者の代表	指宿市自治公民館連絡協議会 副会長	岩本 一宏	
11	市民又は利用者の代表	指宿市自治公民館連絡協議会 副会長	中川 堅治	
12	国土交通省九州運輸局鹿児島運輸支局長又はその指名する者	国土交通省九州運輸局鹿児島運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	南 崇	
13	国土交通省九州運輸局鹿児島運輸支局長又はその指名する者	国土交通省九州運輸局鹿児島運輸支局 首席運輸企画専門官(輸送・監査担当)	西村 英明	
14	一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者又はその指名する者	私鉄鹿児島交通労働組合 執行委員長	岡 良二	欠席
15	指宿警察署長又はその指名する者	指宿警察署 交通課長	福元 亮介	《代理》 課長代理 蛭原 啓介
16	道路管理者又はその指名する者	鹿児島県南薩地域振興局建設部 建設総務課長	下竹 克浩	
17	港湾管理者又はその指名する者	鹿児島県南薩地域振興局建設部 河川港湾課長	四村 正二	
18	鹿児島県知事又はその指名する者	鹿児島県総合政策部 交通政策課主幹兼陸上交通係長	末永 陽一	欠席
19	交通会議が必要と認める者	指宿市 総務部長	坂元 一博	
20	指宿市長又はその指名する者	指宿市 産業振興部長	野元 伸浩	副会長
21	交通会議が必要と認める者	指宿市 健康福祉部長	出島 雅彦	
22	交通会議が必要と認める者	指宿市 建設部長	高田 博憲	
23	交通会議が必要と認める者	指宿市 山川支所長	中島 裕一	
24	交通会議が必要と認める者	指宿市 開聞支所長	山下 秀一	
	オブザーバー	国土交通省九州運輸局 交通企画課長	丹下 涼	

	事務局	指宿市 商工水産課長	宮地 主税	事務局長
	事務局	指宿市商工水産課 主幹兼商工運輸係長	打越 貴人	
	事務局	指宿市商工水産課商工運輸係 主査	大小田 直人	

指宿市地域公共交通沿革

年	できごと
昭和9年12月	国鉄指宿線延伸により指宿駅開業
昭和18年1月	山川-佐多航路が開かれる
昭和38年10月	JR指宿枕崎線全面開業
平成元年3月	空港連絡バス運行開始
平成6年4月	高速船「トッピー」指宿港に寄港開始
平成12年5月	JR九州バス路線を鹿児島交通に移管（旧・山川営業所分）
平成14年10月	旧・指宿市においてイッシーバス運行開始
平成18年1月	新・指宿市誕生
平成19年1月	山川・開間地域にてイッシーバス運行開始
平成23年3月	九州新幹線全線開業。観光特急「指宿のたまたま箱」運行開始
平成23年8月	山川・根占航路「フェリーなんきゅう」運航開始
平成31年2月	指宿市地域公共交通会議設置
令和元年5月	指宿市地域公共交通基本計画策定（計画期間：令和5年度まで）
令和2年4月	新たな公共交通体系にて実証運行開始（令和4年3月31日までの2年間） <ul style="list-style-type: none"> ○ イッシーバス：4路線⇒2路線（小牧線，徳光・鰻線） ○ 予約型乗合タクシー（あいタク）4路線運行開始（畠久保・西方線，池田線，魚見線，尾下線） ○ 開間循環線（10人乗りワゴン車）運行開始 ○ イッシーバス連絡線運行開始（川尻⇒フラワーパークかごしま） ○ 指宿市民限定鹿児島交通路線バス回数券発売開始
令和3年4月	イッシーバス徳光・鰻線 一部経路変更（山川高校経由）
令和3年10月	開間循環線運行廃止
令和3年11月	予約型乗合タクシー（開間線）運行開始 イッシーバス連絡線拡充（1日2往復化）
令和4年4月	実証運行期間の延長（令和4年9月30日まで） 予約型乗合タクシー開間線運行区域見直し，尾下線運賃改定
令和4年10月	路線バス「指宿駅前-開間駅前」線 路線廃止 路線バス「エコキャンプ場-池田湖」線 減便の上廃止代替バス化 路線バス「山川-開間駅前」線 減便の上廃止代替バス化
令和4年10月	新たな公共交通体系の本格運行開始 <ul style="list-style-type: none"> ○ イッシーバス路線見直し（小牧～ニシムタ指宿店線，川尻～なのはな館線） ○ 予約型乗合タクシー鰻線運行開始，畠久保・西方線及び池田線運行区域拡大
令和4年11月	指宿市地域公共交通活性化協議会（法定協議会）設立
令和5年4月	路線バス「エコキャンプ場-池田湖線」のたまたま箱温泉乗入開始